



とちょう保育園便り

2018年2月号

厳しい寒さが続いています。東京に4年ぶりの大雪が降り、交通機関は大混乱でしたが、子どもたちにはうれしいプレゼントとなりました。大雪の翌日、公園までの道が通行止めで、散歩にはいけなかったものの、それであきらめる保育士たちではありません。バケツやたらいで部屋に雪を運び、小さい雪だるまを作ったり、シャベルで雪をすくったりすると、子どもたちは初めての感触に目を輝かしていました。

もうすぐ節分。作り物の鬼の的と新聞で作った豆で豆まきごっこを楽しむ予定です。
澤田陽子

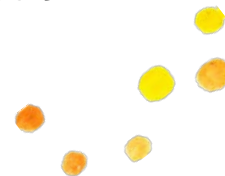
子どもたちのイヤイヤにどう向き合う？パート2



1月の園だよりを配布した翌日、あるお母さんから声をかけられました。「昨日イヤイヤがひどくてすごく怒ってしまいました。園だよりを見て反省しました」と。親だって感情のある人間ですから当然です。でも少し考えを変えると穏やかでいられることも。

前は「イヤイヤ」には「そうだよね。嫌だったね」と受容しようという内容でした。今回はそのあとの話です。少し気持ちが落ち着いたものの、まだまだ次の行動に移ってくれそうもない時は「自分で選ぶ」ことが、おすすめです。例えば「保育園に行きたくない」といって玄関にひっくり返った時。「そうだね。保育園に行きたくないんだね」と気持ちを受け止めて、「ピンクの靴と青い靴どっち履く？」と聞くと「ピンク」と答えて靴を履き、保育園に行きたくない気持ちは一旦リセットという事も少なくないと思います。

1, 2歳児は「イヤイヤ期」と同時に「自分で期」でもあります。自分で選ぶ、自分で決めることで気持ちが満たされるのだと思います。保育園では「お散歩に行かない」と座り込んだ時に「かえるさんとおさるさん、どっちとタッチしていく？」とパペットを見せて聞くと、スクッと立ち上がり「かえるさん」と言って、タッチをして散歩に出かけていく姿が見られます。何もかもイヤイヤから、自分で選ぶということに気持ちが切り替わったのだと思います。ぜひ、ためしてみてくださいね。
子どもたちのイヤイヤも、いつか懐かしく思える日が必ずきます！
一緒に向きあっていきましょうね。



2月の予定



- ・ 2日 (金) 節分
- ・ 15日 (木) 歯科健診
- ・ 23日 (金) 避難訓練
- ・ 27日 (火) 0歳児健診